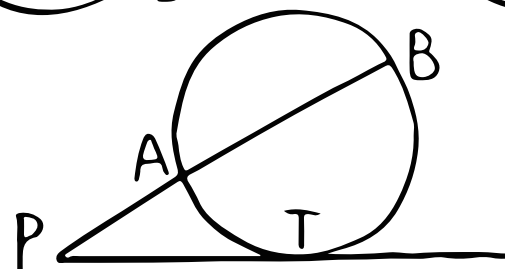
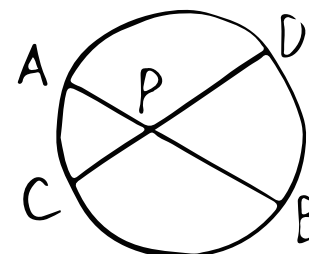
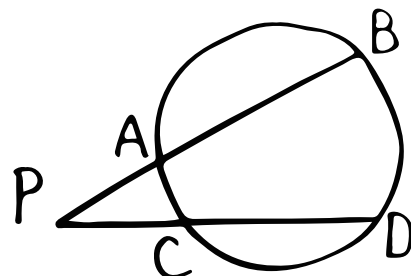


数A(方べきの定理①)

① 点Pを通る2直線が、円Oとそれぞれ
2点A、Bと2点C、Dで交わる時、

① $PA \cdot PB = PC \cdot PD$ が成り立つ。

点Pを通る2直線の一方が、円Oと
2点A、Bで交わり、もう一方が点Tで
接するとき、② $PA \cdot PB = PT^2$ が成り立つ。



② 下の図でxを求めよう。ただし、Tは接点とする。

